



平成 21 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 昭 和 真 空  
代表者の役職名 代表取締役社長 小俣 邦正  
(JASDAQ コード番号 : 6384)  
問い合わせ先 経営企画室長 田中 彰一  
電 話 番 号 042-764-0385

## 親会社等に関する事項について

### 1. 親会社等の商号等

親会社等	属 性	親会社等の議決権 所有割合 (%)	親会社等が発行する株式 が上場されている証券取 引所等
株式会社アルバック	上場会社が他の 関連会社である 場合における当 該他の会社	21.58	東京証券取引所市場一部

### 2. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社との関係

- (1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係

株式会社アルバックを中心とする企業集団（以下「アルバックグループ」という。）は、株式会社アルバック、同社子会社・関連会社から構成されています。アルバックグループの事業は、半導体製造装置・電子部品製造装置・成膜装置・真空ポンプ等の製造販売や国内外での保守・サービス等を行う真空関連事業、真空技術の応用による金属・セラミックス・有機物等の製造販売等を行うその他の事業に区分されます。当社は真空関連事業に位置付けられ、主に水晶デバイスメーカー、光学デバイスメーカー、電子部品メーカー向けの真空蒸着装置、スパッタリング装置等の製造販売を行っております。

当社は、株式会社アルバックより、当社が生産する真空技術応用装置の部品として使用される真空ポンプや真空計等を仕入れ、その他のアルバックグループ会社からも真空技術応用装置の部品を一部仕入れております。それらについては、取引基本契約に基づき一般的取引条件と同様に行っております。また、同社保有の商標「ULVACGROUP」を当社製品等に使用しておりますが、これらについては、商標使用契約に基づき、売上総額（株式会社アルバック及びそのグループ会社からの仕入高相当額を除く）の一定率を支払っております。

人的関係につきましては、業界動向に関する助言を得るとともに、監査役体制の充実のため、株式会社アルバックより非常勤取締役 1 名、非常勤監査役 1 名を派遣いただいております。

(役員の兼務状況)

当社における役職	氏名	親会社での役職
小田木 秀幸	非常勤取締役	取締役
常見 佳弘	非常勤監査役	専務取締役

上記 2 名については、豊富な経験と高い見識、社外の客観的な見地からの経営上の助言を得ることおよび監査体制の強化を目的に就任を要請したものであり、当社の事業活動や経営判断において、上場会社としての自主性、独立性が尊重されております。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット、親会社等の企業グループとの関係から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、株式会社アルバックと相互に独立性を維持しつつ、相互協力を確認した「業務の相互協力に関する覚書」及び同社が保有する商標「ULVACGROUP」を使用する「商標使用契約」を平成 11 年 4 月に締結しております。これ等により、当社はアルバックグループと協力関係を維持しつつ、自由に研究・開発・生産に取り組むこととし、グループとして販売・財務・経理等の情報交換や展示会への共同出展を行っております。また、「ULVACGROUP」商標の使用等により、当社製品の知名度、信頼性及び、企業の信用度を高めていると認識しております。

(3) 親会社等からの一定の独立性確保に関する考え方及びそのための施策

当社の取締役のうち同社からの社外取締役は 1 名と半数に至る状況にはなく、その就任は当社からの要請に基づくものであることから、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。

また、平成 11 年 4 月に株式会社アルバックと締結した「業務の相互協力に関する覚書」により、相互に独立性を維持しつつ、協力関係を保つことを確認しております。

(4) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社は株式会社アルバックとの間で、相互に独立性を維持しつつ、相互協力を確認した「業務の相互協力に関する覚書」に基づき、これまで、株式会社アルバック及びその企業グループと協力関係を保ちながら事業展開を行ってきております。同企業からの社外取締役の就任状況は、独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

3. 親会社等との取引に関する事項

平成21年5月18日発表の「平成21年3月期決算短信」の33ページに記載しております「関連当事者との取引」をご参照下さい。

以上